



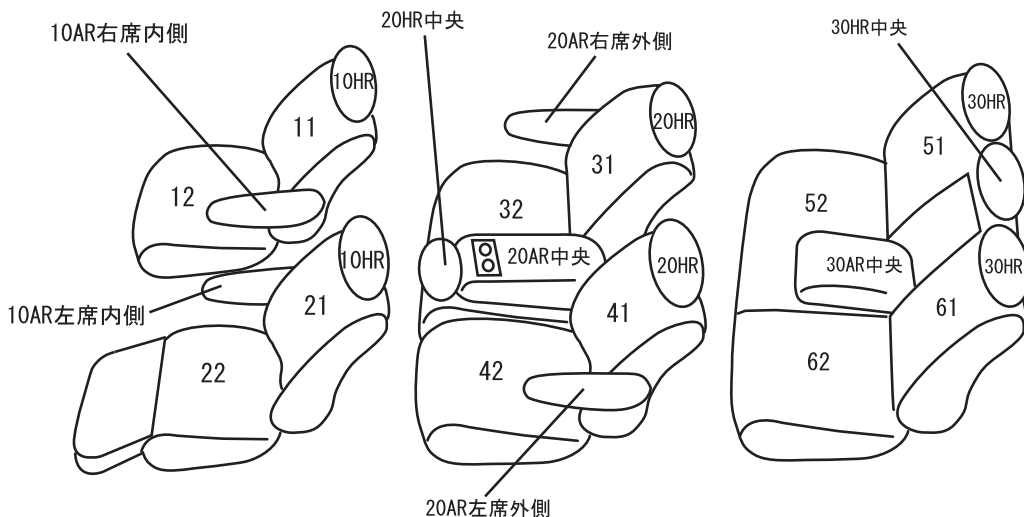
ニッサン エルグランド

専用シートカバー取付説明書

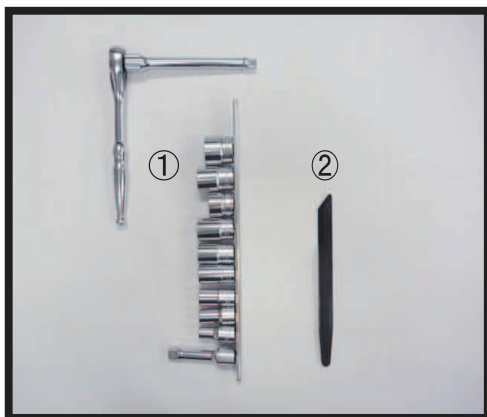
この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ①ラチェットレンチセット
(10mm、14mm、17mm)
- ②ヘラ(付属)

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地が硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



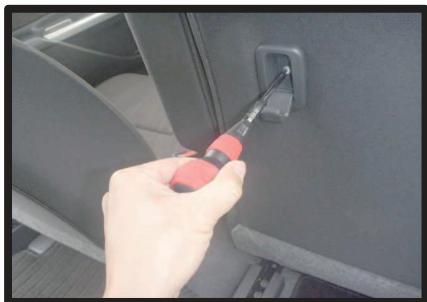
- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

コンビニフックについて

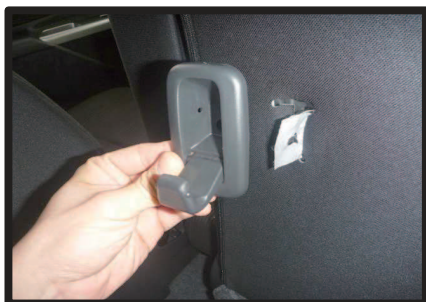
一部車種の背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



①フックを出してドライバーを使用して中のネジを外します。



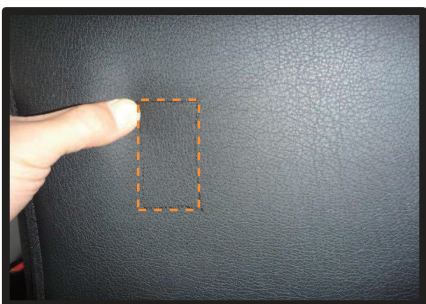
④印に沿って生地を切り取ります。この際内側のシート表皮などを傷付けたりしないように、作業は慎重に行ってください。



②コンビニフックを手前にまっすぐ引いて外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



⑤コンビニフックを元に戻します。フックを軽く引っ張り、しっかり固定出来ているか確認します。



③カバーを確実に装着してもうこれ以上ずらしたりすることが無いことを確認します。カバーの上からコンビニフックを固定する位置を確認して、フチに沿って印を付けます。



⑥コンビニフックの加工完了です。

1 列目運転席座面



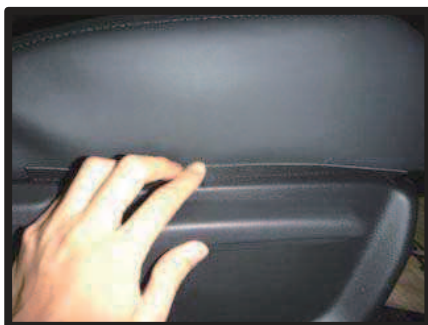
- ① 始めに背もたれから座面下に覆われている生地を取り外します。生地は座面下にゴムで固定されています。



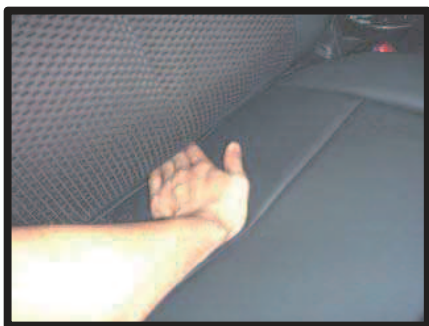
- ④ シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



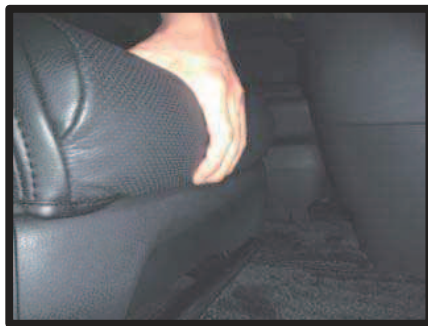
- ② カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



- ⑤ カバー両側面の生地をシートのプラスチック部に入れ込みます。



- ③ 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込み、シート背面から引き出します。背もたれの角度を調整し、入れ込みやすい位置で行ってください。



- ⑥ カバー前面の生地をシートのプラスチック部に入れ込みます。



⑦ 1 ページの図③で入れ込んだ生地の内側に付いているマジックテープをシートに直接固定します。



⑩ カバーのラインを整え、1 列目運転席側座面の完成です。



⑧ ⑦のシート地部分が不織布のような素材を使用している車両があります。そのシート地ではマジックテープが直接シートに貼り付け出来ません。その場合は⑨のマジックテープのベルトでのみ固定して下さい。



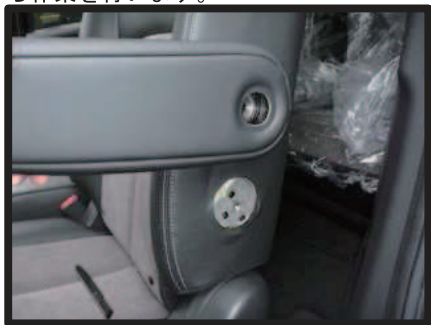
⑨ 1 ページの図③で入れ込んだ生地についているマジックテープのベルトを、シート裏の金属部分に巻き付けて固定します。

1、2列目アームレストの外し方

注意事項：背もたれはアームレストを外してから作業を行います。



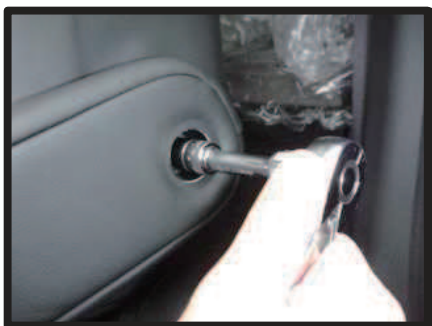
①ヘラ等を使用し、プラスチックを外します。



④アームレストを背もたれから外します。



②プラスチックを外すとボルトがあります。



③ラチェットレンチ14mmを使用し、ボルトを外します。

1 列目背もたれ



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



①カバーを半分程裏返してシートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



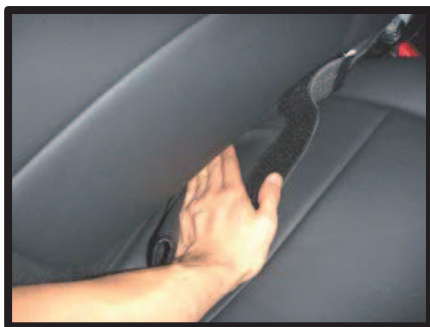
④図③で入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



②1ページの図①で外した生地をカバーの中に入れ込みます。



⑤ヘッドレストの台座部分をカバーの加工穴から取り出します。生地伸びを利用して横から潜り込ませるように取り出します。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑥台座を取り出すと、このようになります。



⑦図の①～③の順番で生地をシートに馴染ませ、カバーのシワを無くしていきます。



⑧4ページの図②のカバーのマジックテープと図③の生地の表側に付いているマジックテープを固定します。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



⑨カバーの背面に付いているゴムに、付属しているS字フックを取り付けシートの裏に引っ掛けて固定します。



⑩サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整え、1列目背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

1 列目助手席座面



①オットマンを一番上の位置にして、オットマンの先端部分にシートカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。



④図はオットマン両側面にあたるカバーの生地です。



②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑤図④の生地をオットマン内側のプラスチック部に入れ込みます。



③カバーの両側面の生地をシートのプラスチック部に入れ込みます。



⑥カバーのオットマン付け根付近の生地にはマジックテープが付いていません。

1 列目助手席座面続き



⑦左右に付いているマジックテープはプラスチックの間を通します。



⑩6ページの図②で入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



⑧図⑦で通したマジックテープです。



⑪引き出した生地裏側に付いているマジックテープをシートに直接固定します。



⑨マジックテープをアウトマン裏側で固定します。

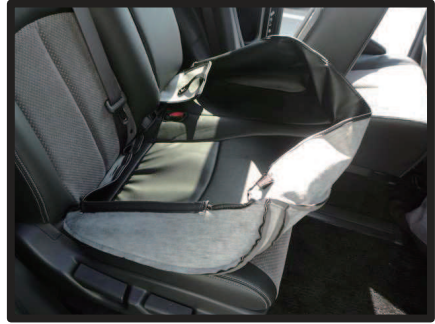


⑫運転席側と同様に、⑪のシート地部分が不織布のような素材を使用している車両があります。そのシート地ではマジックテープが直接シートに貼り付け出来ません。その場合は⑬のマジックテープのベルトのみで固定して下さい。

2列目座面



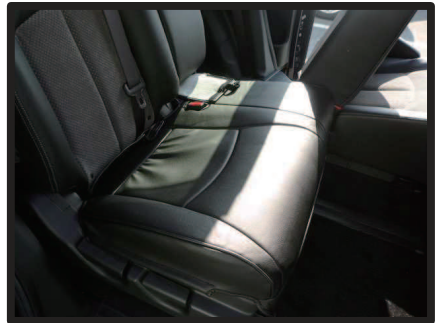
⑬ 6ページの図②で入れ込んだ生地に付いているマジックテープのベルトを、シート裏の金属部分に巻き付けて固定します。



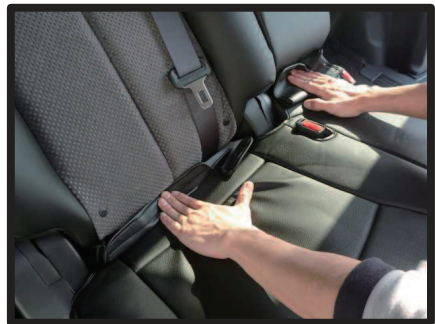
① カバーを裏返した状態で、シートのラインに合わせます。



⑭ カバーのラインを整え、1列目助手席側座面の完成です。



② ラインがずれないように、カバーをかぶせます。

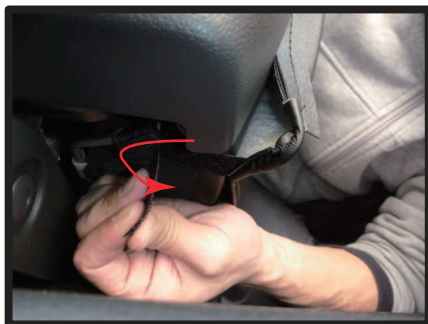


③ 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。

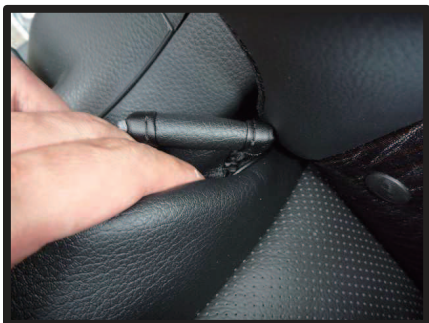
2列目座面続き



④ 8ページの図③入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。図の○位置にあるシートベルトをかわしておきます。



⑦カバー前部に付いているマジックテープベルトを、シート裏側にある金属部に巻き付け固定します。
※固定箇所は2ヶ所です。



⑤カバーの端の生地をシート付け根部分のプラスチック部に入れ込みます。



⑧シート裏側の金属部の拡大図です。図のように、マジックテープベルトを巻き付けます。



⑥カバーの両側面の生地をシートのプラスチック部に入れ込みます。



⑨正しく固定されるとこのようになります。



⑩シート側面のプラスチック部に、カバーを入れ込みます。



⑬ 8 ページの図③で入れ込んだアームレスト下の生地を後ろ側から引き出します。



⑪ 9 ページの図④で引き出した生地をシートに直接固定します。



⑭カバー内側側面の生地を後ろ側へ引っ張り、図⑬で引き出した生地と、マジックテープで固定します。

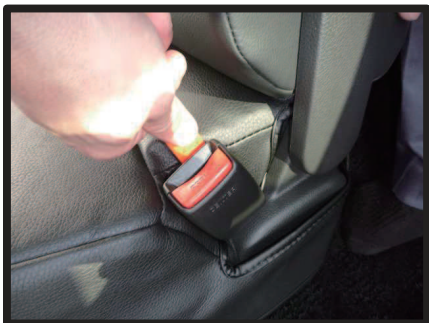


⑫シート背面はこのようになります。



⑮カバー前部に付いているベルトを後ろ側へ引き出し、図⑬で引き出した生地が付いているバックルを使い、ベルトを固定します。固定方法は、17 ページの図④を参照します。

2列目座面続き

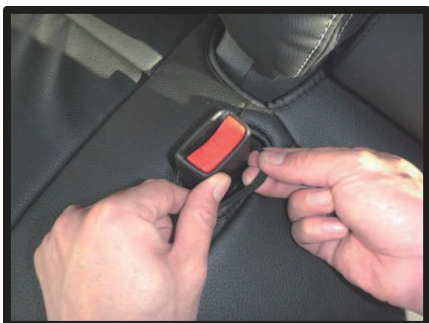


⑯シート内側のシートベルトバックル部に生地を入れ込みます。

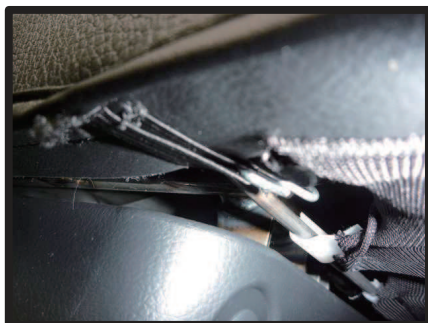
※2列目助手席側座面取り付けの補足



⑰助手席側座面の内側側面の生地にはゴムが付いていますので、付属のS字フックを取り付けます。



⑱シート中央にあるシートベルトバックルをカバーの加工穴から引き出し、加工穴に付いているゴムを、図のようにバックルの根元に固定します。



⑳座面裏側にS字フックを引っ掛けます。この際、S字フックは、ゴムにある程度のテンションがかかる位置に引っ掛けるようにして下さい。



⑲カバーのラインを整え、2列目運転席側座面の完成です。
助手席側は一部形状が異なりますが同様に取り付け、最後に次の図⑳～㉑を参照します。

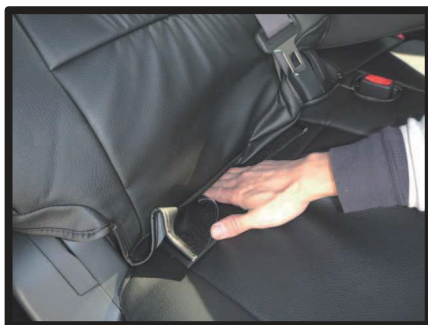


㉑正しく固定するとこのようになります。

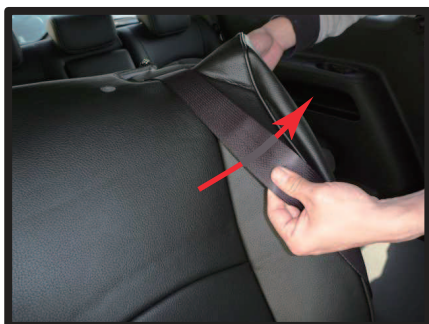
2列目背もたれ



①運転席側背もたれカバーは、始めにファスナーを開いておきます。



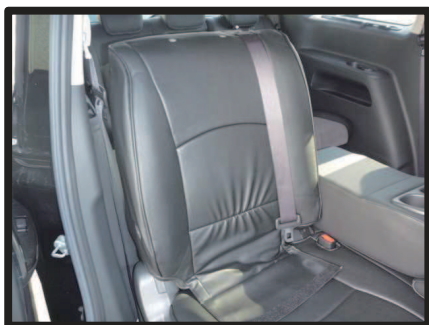
④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



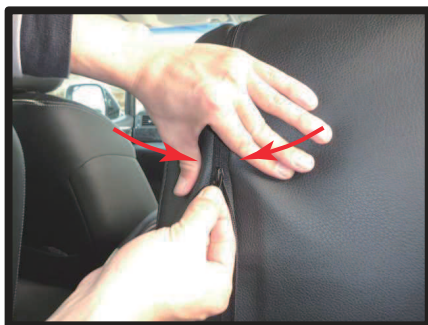
②背もたれ肩口にある、シートベルトの下側にカバーを通します。



⑤入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。

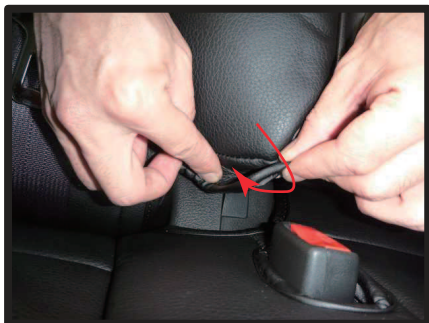


③背もたれ全体にカバーをかぶせます。

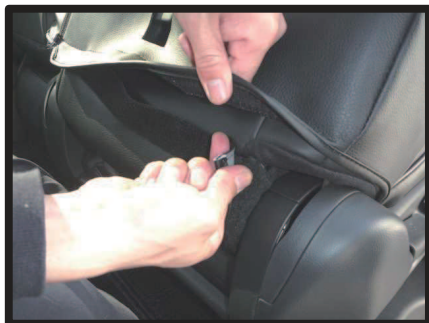


⑥肩口のファスナーを閉じます。図のように、生地を内へ寄せながらゆっくり閉じて下さい。強く引っ張るとファスナーが壊れる恐れがありますので注意して下さい。

2列目背もたれ続き



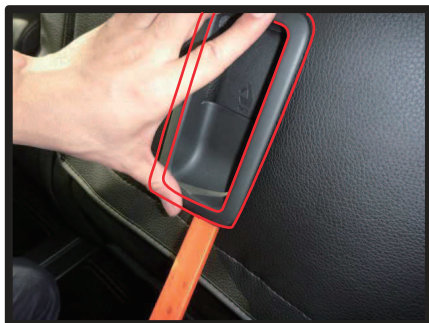
⑦背もたれ内側側面のマジックテープの付いた生地は、図のようにシートに直接固定します。



⑩12ページの図⑤で引き出した生地を背面の生地とマジックテープで固定します。



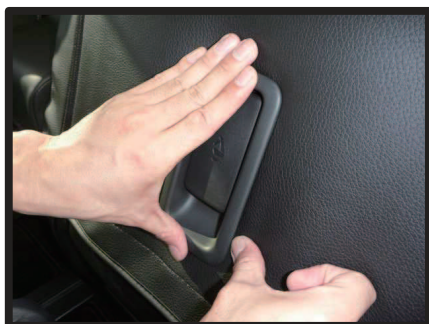
⑧肩口のシートベルトの台座部分に、ヘラ等を使用して生地を入れ込みます。



⑪背もたれ背面にあるシートを動かす為のレバーは、図のようにヘラ等を使用すると枠部分(図の赤線部)が取り外せます。



⑨1列目と同様にヘッドレストの台座部分も取り出すと、このようになります。

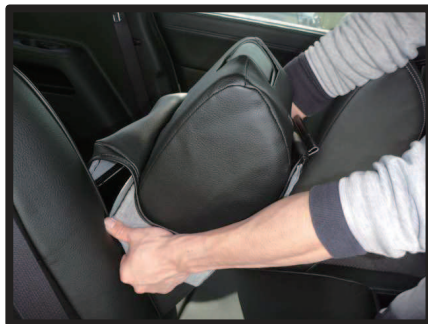


⑫枠を外して出来た隙間に、カバーの生地を入れ込み、枠を元に戻します。この際、しっかりと枠を戻さないと生地の厚みで、枠が浮いて来ますので注意して下さい。

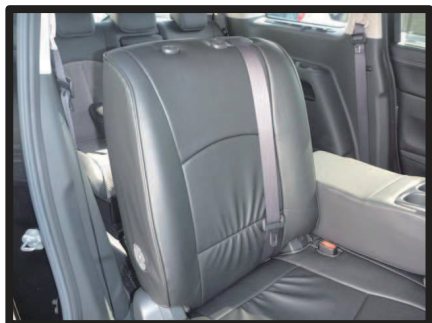
2列目中央アームレスト



⑬正しく取り付けるとこのようになります。



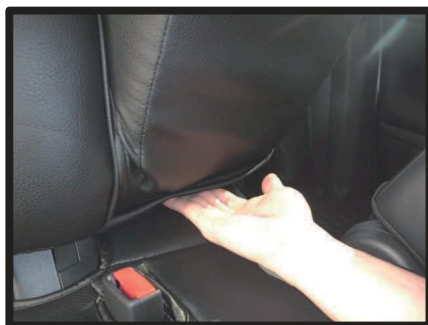
①カバーを半分程裏返した状態で、アームレストのラインに合わせて、かぶせます。



⑭カバーのラインを整え、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側は、一部形状が異なりますが同様に取り付けます。



②ラインがずれないように、カバーを引き下げていきます。



③アームレストと座面の隙間に生地を入れ込みます。

2列目中央アームレスト続き



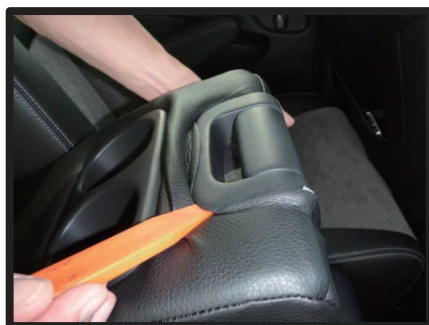
④ 入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。カバーの固定は、生地が付いているプラフックを使用します。



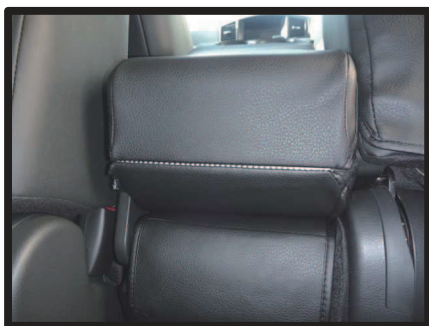
⑦ カップホルダー一部に、ヘラ等を使用して生地を入れ込みます。



⑤ プラフックの固定方法は、カギ状のフック部に、平らなプラスチック部を、生地ごと巻き込み固定します。



⑧ アームレスト前方のレバー部分にも生地を入れ込みます。



⑥ 正しく取り付けるとこのようになります。



⑨ 背もたれと同様に、ヘッドレスト台座部分を取り出します。

3 列目座面



⑩カバーのラインを整え、2列目中央アームレストの完成です。



①始めに座面下に覆われている生地を取り外します。
生地は座面下にマジックテープで固定されています。

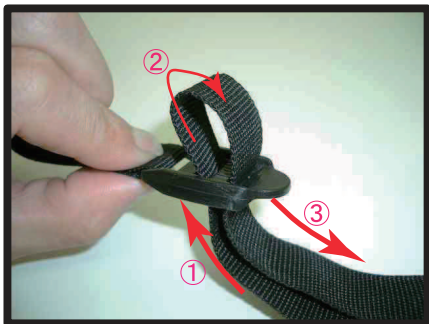


②シートのラインからずれないようにカバーを全体にかぶせます。



③カバーの前後3ヶ所、左右1ヶ所をベルトで固定します。
助手席側：前後2ヶ所、左右1ヶ所。

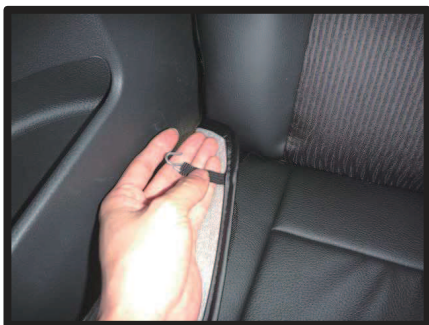
3列目座面続き



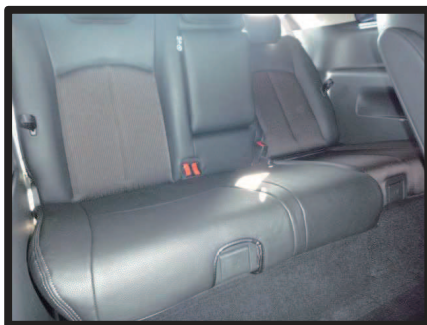
④ベルトの固定方法は、①～③の順番にベルトをバックルに通してベルトを引くと、カバーの前後が引き絞りが固定されます。



⑦16ページの図①で取り外した生地は、カバーのマジックテープ部に直接固定します。



⑤背面と外側面の2ヶ所のゴムに付属のS字フックを取り付けシート裏に引っ掛けて固定します。
助手席側：背面と外側面の2ヶ所



⑧カバーのラインを整え、3列目座面の完成です。
助手席側は、一部形状が異なりますが同様に取り付けます。



⑥前側面のカバーをシートスライド用レバーのある位置に合わせます。
※カバーの生地はレバーのフチに入れ込みません。

3列目アームレストの外し方



①図のプラスチック部をアームレストから矢印方向へスライドさせ、外します。



④図の金属部品を外します。



②プラスチック部の裏側には、ツメが2ヶ所有り、無理に取り外そうするとツメが破損する恐れがありますのでご注意ください。



⑤アームレストを背もたれから外します。



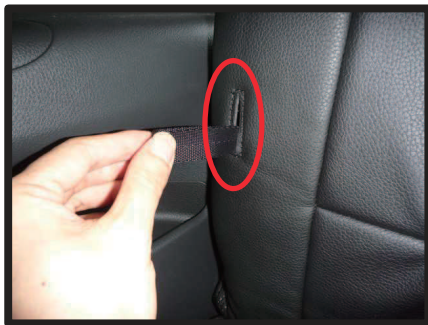
③ラチェットレンチ17mmを使用し、ナットを外します。
丸で囲んだナットもラチェットレンチ10mmを使用し外します。

3列目背もたれ

注意事項：助手席側は図⑥～⑩迄のアームレストの取付けはありません。



①カバーを図のように半分程裏返し、シートラインに合わせます。



④カバーの加工穴からリクライニング用ストラップを取り出します。



②ヘッドレストの台座部分を取り出します。



⑤カバーの背面下と図③で入れ込んだ生地をマジックテープで固定します。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑥アームレストの下パーツ部分はマジックテープで固定します。



⑦ 19ページの図⑥を固定した図です。



⑩ アームレストのラインからずれないようにカバーを全体にかぶせます。



⑧ シート背面のシートスライド用レバー一部に、ヘラ等を使用し、生地を入れ込みます。



⑪ 15ページの図⑤の固定方法で、カバーをブラックで固定します。



⑨ 18ページで外したアームレストにカバーを半分程裏返し、ラインに合わせてカバーをかぶせます。



⑫ 18ページの逆手順でアームレストを戻し、カバーのラインを整え、3列目背もたれの完成です。

— 20 — 助手席側は一部形状が異なりますが、同様に取付けます。

1 列目ヘッドレスト



① 1 列目ヘッドレストのカバーをヘッドレスト本体をつぶしながら、上からかぶせます。平らなプラスチックパーツが付いている方が後ろ側になります。



④ ヘッドレスト裏のプラフックを使用し固定します。
15 ページの図⑤の固定方法で、カバーをプラフックで固定します。



② ヘッドレストのラインからずれないように、カバーをかぶせていきます。



⑤ ヘッドレストをシートに戻し、カバーのラインを整え、1 列目ヘッドレストの完成です。



③ ヘッドレストをシートから取り外し、ヘッドレスト内側の生地に付いているマジックテープで固定します。



⑥ 2 列目ヘッドレストも同様に取り付きます。

3列目ヘッドレスト



① 3列目中央のヘッドレストのカバーは、ヘッドレストの前側に引っ掛けるようにかぶせます。平らなプラスチックパーツが付いている方が前側になります。



④ 3列目両側のヘッドレストも同様に取り付け、カバーのラインを整えて、3列目ヘッドレストの完成です。



② ヘッドレストの後ろ側迄カバーをかぶせ、ラインを整えます。

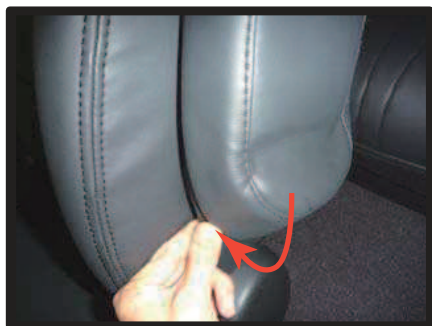


③ ヘッドレストをシートから取り外し1列目と同様にプラフックで固定します。

1、2列目アームレスト



①3ページで外したアームレストにカバーをラインに合わせて先端からかぶせます。



④アームレストの付け根部分にカバーを入れ込みます。
*生地を強く引っ張ると破れるおそれがありますので注意して下さい。



②ラチェットレンチ14mmを使用し、ボルトを締め、アームレストを戻します。

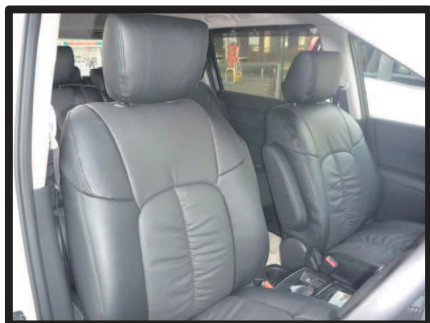


⑤カバーのラインを整えて1列目アームレストの完成です。
2列目アームレストも同様に取り付けます。

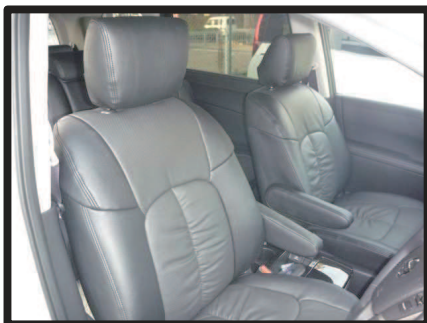


③外したプラスチックを戻します。

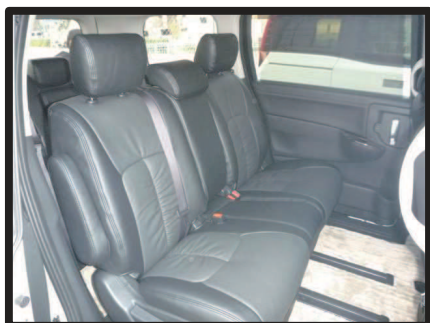
完成図



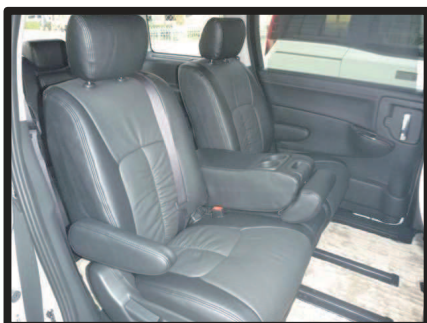
1 列目運転席側



1 列目アームレスト使用時



2 列目



2 列目アームレスト使用時



3 列目



3 列目アームレスト使用時

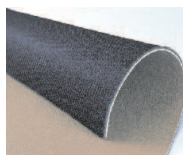


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

